

みずほCustomer Desk Report 2022/11/18号 (As of 2022/11/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	139.50
TKY 9:00AM	139.31	1.0394	144.80	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	140.72	1.0406	145.44	1.1918	0.6740
SYD-NY Low	138.88	1.0306	144.48	1.1957	0.6750
NY 5:00 PM	140.18	1.0365	145.31	1.1765	0.6635
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,546.32	▲ 7.51	日本2年債	▲0.0400%	0.0100%
NASDAQ	11,144.96	▲ 38.70	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,946.56	▲ 12.23	米国2年債	4.4584%	0.0949%
日経平均	27,930.57	▲ 97.73	米国5年債	3.9362%	0.0833%
TOPIX	1,966.28	2.99	米国10年債	3.7676%	0.0786%
ソコ日経先物	27,975.00	50.00	独10年債	2.0275%	0.0290%
ロンドンFT	7,346.54	▲ 4.65	英10年債	3.1950%	0.0500%
DAX	14,266.38	32.35	豪10年債	3.6400%	▲0.0700%
ハンセン指数	18,045.66	▲ 210.82	USDJPY 1M Vol	12.90%	▲0.46%
上海総合	3,115.43	▲ 4.55	USDJPY 3M Vol	11.94%	▲0.06%
NY金	1,763.00	▲ 12.80	USDJPY 6M Vol	11.19%	▲0.05%
WTI	81.64	▲ 3.95	USDJPY 1M 25RR	▲0.50%	Yen Call Over
CRB指数	277.60	▲ 5.18	EURJPY 3M Vol	11.42%	▲0.02%
ドルインデックス	106.69	0.41	EURJPY 6M Vol	11.30%	0.03%

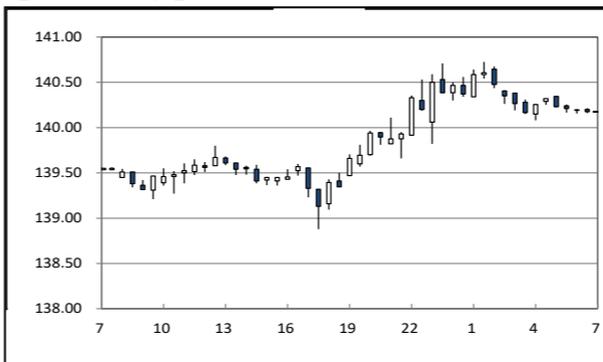
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月17日	08:50	日 貿易収支	10月 -¥2162.3b	-¥1620.0b
	19:00	欧 CPI(前期比/前年比)・確報	10月 1.5%/10.6%	1.5%/10.7%
	19:00	欧 コアCPI・確報	10月 5.0%	5.0%
	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	最低でも5%まで金利を引き上げる必要ある	
	22:30	米 住宅着工件数	10月 1425k	1410k
	22:30	米 建設許可件数	10月 1526k	1514k
	22:30	米 住宅着工件数(前月比)	10月 -4.2%	-2.0%
	22:30	米 住宅建設許可(前月比)	10月 -2.4%	-3.2%
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	11月 -19.4	-6
	22:30	米 新規失業保険申請件数	12-Nov 222k	228k
11月18日	00:40	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	利上げの終着点にはまだ至っていない	

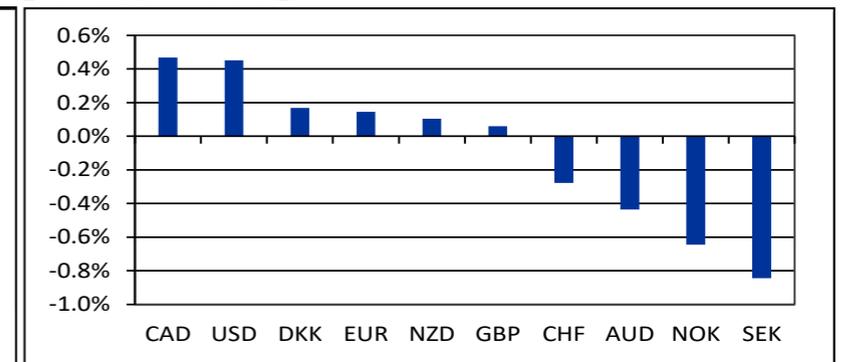
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月19日	00:00	米 中古住宅販売件数	10月 4.40m	4.71m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.50-141.50	1.0250-1.0450	144.00-147.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円はやや値を上げる展開。139.31でオープン後、目新しい取引材料のない中、東京時間は139円台で小康状態。海外時間入り直後に139円を割れる場面も見られたが、その後はじりじりと上昇し140円台を回復。英政府が財政計画を発表したことによるGBP売りやブラード・セントルイス連銀総裁のタカ派発言がドル買いのサポートとなり、一時140.72まで上昇。その後やや値を戻して140.18でクローズした。本日も引き続きヘッドラインやFed高官の発言に振られる展開を基本線として予想する。ただ最近のドル買い材料への反応の薄さと、ドル売り材料への反応の良さを鑑みると、売り需要の方が相対的に強く、警戒すべきは下落リスクの方が。またチャートポイント的にも現在の水準は日足の一目均衡表の雲の下限辺り。今後の見通しとして、この水準をクローズベースで維持できるかどうかにも注目しておきたい。

東京	東京時間のドル円は139.31レベルでオープン後、特段材料ない中、139.21まで下落。ウクライナ情勢のヘッドラインを徐々に消化しているためか、米金利が上昇すると139円台後半まで上昇。その後、米金利が低下に転じると追従する形で139円台前半まで下落し、139.45レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、139.45レベルでオープン。立ち上がりは全般にドル安で138.88まで下落も、ドル金利が下げ止まると上昇に転じ、今度は140.35まで上昇し140.30レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日のウラール理事のハ派な発言もあり、ドル円は一旦138.88まで下落するが、その後はドルが買い戻される展開に140.30レベルでNYオープン。朝方はブラード・セントルイス連銀総裁が5~7%の金利レンジを示唆する発言に米金利が上昇したことから140.53まで上昇するが、8時半に発表の米10月住宅着工件数が予想とほぼ一致した一方、フィラデルフィア連銀景況指数が予想以上に悪化したことから139.82まで下落する。しかしその後は米金利上昇を受けたドル買いに140.72まで戻す。午後は調整からじり安で推移し、140.18レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買い戻しが強まったことから上値を切り下げ、1.0333レベルでNYオープン。朝方はフィラデルフィア連銀景況指数結果を受けたドル売りに1.0333まで戻すが、すぐにドルが買い戻される展開に1.0306まで反落する。午後は調整からユーロが買い戻され、1.0365レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・逸見